

令和6年度
基山町区対抗スポーツ大会

～国スポ・全障スポ開催特別企画～
ラージボール卓球大会・卓球バレー体験会

期 日 令和6年5月19日(日)



SAGA 2024 国 スポ
全障 スポ

新しい大会へ。すべての人に、スポーツのチカラを。

基山町イメージキャラクター
きやまん&きやまる

主 催 基 山 町

基山町区対抗スポーツ大会式次第

I. 開 会 式

令和6年5月19日（日）

8時30分～ 総合体育館アリーナ

- | | | |
|------------|------------|------------|
| 1. 選手役員集合 | | |
| 2. 開会のことば | 区長会長 | 坂本 弘 様 |
| 3. 国旗掲揚 | | |
| 4. 主催者あいさつ | 基山町長 | 松田 一也 |
| 5. 祝 辞 | 基山町議会議長 | 重松 一徳 様 |
| | 佐賀県議会議員 | 古賀 和浩 様 |
| 6. 選手宣誓 | 第1区体育部長 | 富山 竜二 様 |
| 7. 紹介 | 教育長 教育委員 | スポーツ推進委員 |
| | 基山町卓球協会 | 佐賀県卓球バレー協会 |
| 8. 競技上の注意 | 基山町卓球協会 会長 | 北島 悟 様 |

II. 競 技 開 始

9時00分～

III. 閉 会 式

競技終了後行います。

1. 選手役員集合
2. 成績発表
3. 表彰
4. 閉会のことば

ラージボール卓球大会実施要項

目的	今年度、基山町にて開催される『SAGA2024 国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会 卓球競技』の機運向上及びスポーツを中心としたまちづくりや町民の健康づくりを推進する。
主催	基山町
期日	令和6年5月19日（日）
会場	総合体育館アリーナ
開会式	8時30分～ 総合体育館アリーナ（全員集合してください）
試合開始	9時00分～
参加資格	基山町に居住する小学生以上の町民とする 但し、小学生は親の同意を得ること

◎試合形式 団体戦（ダブルス3ゲームの団体戦）

◎参加人数・構成

監督	ダブルス3セット	合計
1名	6～12名	6名（最小） 13名

チーム編成 ・監督1名 ・選手 6～12名 の計6～13名

○登録人数は6名以上13名以内とする。

令和6年4月1日現在で在住している行政区で登録すること。

○監督が、選手として出場する場合は、選手としても登録すること。

○選手の年齢は、令和6年4月1日現在の実年齢とする。

○登録選手変更（選手名簿の変更）は大会当日開会式までに行うこと。

経験者は、備考欄に経験者と記載すること。

○一般申込により選手が増えた場合は、13名を超えて登録できる。

◎競技ルール

- （1）1マッチ3ゲームで構成され、マッチの勝敗は2ゲームを先取した組を勝ちとする。
ただし、勝敗にかかわらず3ゲームまで行うこととする。原則、ゲームごとに選手の入替えを行うこととする。
- （2）11ポイント先取でデュースの場合、13ポイントに先に達した方が勝ちとする。
- （3）各試合の開始前にオーダー用紙を記入し、審判へ提出すること。
- （4）1ゲーム中の選手の交代は、相手チームの合意の上可能とする。
- （5）その他のルールは、現行の日本卓球協会「ラージボール卓球競技ルール」を適用する。
- （6）ラケット及び試合球は、すべて貸与する。（ラケットの持参は認める）

◎テーブル・ネット・ボール

○テーブルは、通常の卓球競技用のテーブルを使用する。

(長さ152.5cm 幅275cm 高さ76cm)

○ネットの高さは、17.25cmとする。(通常の卓球ネットより2cm高い)

○試合球は44mmラージボール球を使用する。

◎審判等

(1) 審判は卓球協会及び町より委嘱した者が行い、抗議は監督に限る。

(2) 対戦チームからそれぞれ得点板係1名を選出する。

◎参加上の注意

(1) ユニフォーム等の服装については、原則として定めない。

ただし、色はボールの色(オレンジ)と明らかに違う色でなければいけない。

(2) 試合中は、審判の指示に従いスムーズな進行に協力すること。

◎表彰

【各パート】優勝チーム

準優勝チーム

ラージボール卓球大会選手名簿

第 区		監督氏名		
No	氏 名	性 別	年 代 (学校区分)	備考 (経験の有は○)
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				

- ※1. 年代は令和6年4月1日現在として下さい。
- ※2. 監督が出場する場合は選手としても欄内に記載して下さい。
- ※3. 選手名簿は、5月9日(木)までにまちづくり課へ提出して下さい。
- ※4. 選手名簿の変更は大会当日の開会式までに行ってください。
- ※5. 参加者集計のため、性別・年代・備考欄の記載をお願いします。(学生は学校区分まで)

ラージボール卓球

ラージボールってこんな卓球！

ラージボール卓球は、日本卓球協会が初心者など初めて卓球に触れ合う方でもラリーが容易に続き、楽しく行えることを目的として考案されました。

身体と頭脳を同時に使うので、脳の血流が活性化されて、認知症予防にも効果が期待されています。楽しく健康寿命の延伸を目指しましょう。ラージボールは、もともとは年配の方向けの卓球として位置づけられていましたが、近年では若い人たちもどんどん参入しており、大きなブームになっています。

硬式とは全く違う打球感やその面白さを、是非多くの人に体験をしていただければと思います。

ラージボールの魅力って何？

大きくて軽いラージボールは初心者でも高齢者でもラリーが続き、全国各地でラージ人口が増加の一途をたどっています。

ラージボールは硬式と比べて初心者と経験者の力量差が出にくい種目であることも、また魅力の1つです。試合中はもちろん真剣勝負ですが、

試合前や試合後には笑顔で触れ合え、人との結びつきを生み出すからです。世代を超えて交流でき、楽しみながら本気になれる。これがラージボールの魅力です。

3つの違いで3世代が楽しめる。3つの続く！が、ラージボール卓球！

- 1 少し大きくて軽く、見やすいボールで、ラリーが続く！
- 2 つぶつぶ表面のラケットで回転量が少なく、ラリーが続く！
- 3 ボールの弧線が高くなるネットで、ラリーが続く！



卓球バレー体験会実施要項

目的	今年度、基山町にて開催される『SAGA2024 全国障害者スポーツ大会 卓球バレー（オープン競技）』の機運向上及びスポーツを中心としたまちづくりや町民の健康づくりを推進するとともに、パラスポーツの向上に寄与する。
主催	基山町
期日	令和6年5月19日（日）
会場	総合体育館アリーナ
開会式	8時30分～ 総合体育館アリーナ（全員集合してください）
体験時間	9時00分～12時00分
参加資格	オープン競技（どなたでも参加できます）

◎競技ルール

- （1）1チーム6名で構成され、6対6で競技する。
6名のうちネット側の2名をブロッカー、他の4名をサーバーとする。
- （2）卓球台からボールが落ちるか、相手コートへ3打以内に返球できなければ相手の得点となる。但し、3打目のボールがネットに触れた場合は、もう1回だけ打つことができる。
- （3）ブロッカーはサービスされたボールに直接触れてはいけない。
- （4）1ゲームは11ポイント先取（デュースは行わない）とする。
- （5）全員が椅子又は車いすに座ってプレーする。
- （6）その他のルールは、日本卓球バレー連盟発行「卓球バレー競技規則と解説」を適用する。
- （7）ラケット及び試合球は、すべて貸与する。（ラケットの持参は認める）

◎テーブル・ネット・ボール

- テーブルは、通常の卓球競技用のテーブルを使用する。
（長さ152.5cm 幅275cm 高さ76cm）
- ネットの高さは、台上から5.7cm（ボール1個半分）上げたネットを取り付ける。
- 試合球は40mmで金属が入った音の鳴るボールを使用する。
- ラケットは、木製のラケット（縦・横ともに30cm以内）を使用する。

◎審判等

審判および進行はスポーツ推進委員及び町より委嘱した者が行う。

◎参加上の注意

競技中は、審判の指示に従いスムーズな進行に協力すること。

卓球バレー

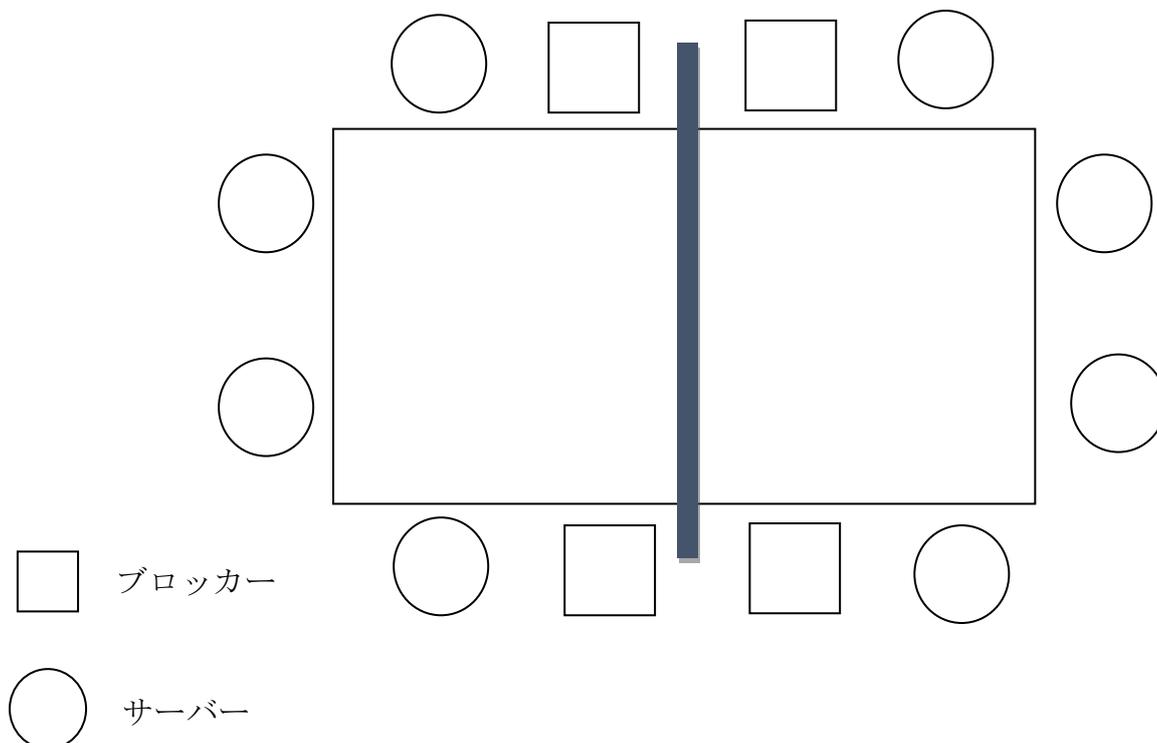
卓球バレーってどんな競技？

文字通り、卓球台と音の鳴るピンポン球を使ってバレーのように戦います。

6対6で競うチームスポーツで、木の板のラケットでピンポン球を打ってパスを回しながら、ネット下を通過させて、3打以内に相手コートに返球します。障害のある人、高齢者や子どもも一緒にプレーできるのが魅力です。

卓球バレーの主なルール

- 卓球台から5.7cm上げたネットの下を金属球が入った音の鳴るボールを転がして、打ち合う競技です。
- 1チーム6人制で、いす、または車いすに座った状態で卓球台を囲み、ボールを木の板のラケットで相手コートに打ち返します。
- サービスはネット側の2人（ブロッカー）を除く4人（サーバー）が順番にうちます。各チーム1本ずつ交代で行います。
- 基本的にはバレーボールのルールに準じ、卓球台からボールが落ちるか、3打以内に返球できなかった場合に相手の得点となります。
- 立ち上がったたりお尻を浮かしてプレーしたときやブロッカーがサービスされたボールを直接相手コートに返したりするとファウル。相手得点となります。



得点となるファウルの種類

反則名	内 容
サーブ	ブロッカーは相手のサービスを打ち返すことはできない。
ドリブル	球をラケットで二度打ちすると反則となる。
ホールディング	球をラケットで押さえ込みながら打つなどして、打球音がしないときや不自然に打球の角度が変わったときは反則となる。必ずはじき返すように球を打ち返さなくてはならない。
タッチネット	ラケットや手でネットや支柱に触れると反則となる。
ボディボール	ラケット以外の腕や体で球を打つことはできない。
サポート	ネットの外側にボールがあたったときは、あてた側の反則となる。
スタンディング	椅子から腰を浮かせた時点で反則となる。
オーバーネット	ラケットがネットを越えて相手コートに入ると反則となる。
ボールアウト	打球がネットを越えて相手コートに入ったとき、ネットの下を通過していった球が相手コートに落ちることなく（ノーバウンドで）コートの外へ出た場合は、その打球を打った側の反則となる。通常の打球がコートの外へ出たときには打った側の得点となる。

